

化学物質等安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

会社	昭和化工株式会社
住所	大阪府吹田市芳野町 18 番 23 号
担当部門	品質保証課
連絡先	TEL:06-6384-1504 FAX:06-6384-2287
緊急連絡電話番号	TEL:06-6384-1501

MSDS 整理番号: G1059 改訂-9 2014年5月27日

製品名(化学名、商品名等) 2-ジアゾ-1-ナフトール-5-スルホン酸ナトリウム

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性:	刺激性がある。
環境影響:	データなし
物理的および化学的危険性:	加熱すると 110~120℃付近で急激な体積膨張があり、爆発する恐れがある。また、ジアゾニウム塩のため加熱、摩擦、光により分解し、激しく燃焼する。
特定の危険有害性:	データなし
分類の名称(分類の基準は日本方式):	分類基準に該当せず。

GHS 分類

物理化学的危険性

自己反応性化学品:	タイプ D
-----------	-------

上記項目以外は「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」である。

人健康有害性

皮膚腐食性・刺激性:	区分 2
皮膚腐食性・刺激性:	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分 2A

上記項目以外は「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」である。

環境有害性

「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」である。

シンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- H242: 熱すると火災のおそれ
- H315: 皮膚刺激
- H319: 強い眼刺激

注意書き

安全対策:

- P210: 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
-禁煙。
- P220: 衣類、可燃物から遠ざけること。
- P234: 他の容器に移し替えないこと。
- P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P264: 取扱後は手、顔等よく洗うこと。

応急措置:

- P370+P378: 火災の場合: 消火するために水、粉末、炭酸ガス、泡を使用すること。
- P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること
- P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管(貯蔵):

- P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P411: -5℃以下の温度で保管すること
- P420: 他の物質から離して保管すること。

廃棄:

- P501: 地方自治体によって認可された廃棄物処理会社を通して内容物、容器を処分すること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別: 単一製品
- 化学名または一般名: 2-ジアゾ-1-ナフトール-5-スルホン酸ナトリウム
- 成分及び含有量: 95.0%以上(一水塩として)

化学特性(化学式又は構造式):	$C_{10}H_5N_2NaO_4S \cdot H_2O$
官報公示整理番号:	化審法: 4-521
	安衛法: 既存化学物質
CAS No.:	2657-00-3
PRTR 法:	非該当
労働安全衛生法通知対象物質:	非該当
危険有害成分:	該当なし

4. 応急措置

吸入した場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、鼻腔を水で洗い、うがいをする。 ・体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。 ・製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。 ・外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける。
目に入った場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・清浄な水で最低 15 分間目を洗浄後、直ちに眼科医の手当てを受ける。 ・洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水がいきわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合:	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに水でよく口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませ、医師の手当てを受ける。 ・被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤:	水、粉末、炭酸ガス、泡
火災時の特定危険有害性:	<p>燃焼すると窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等のガスを発生する恐れがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者以外の立ち入りを禁止し、適切な保護具を着用して風上から作業する。 ・周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。
特定の消火方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者以外の立ち入りを禁止し、適切な保護具を着用して風上から作業する。 ・周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> ・漏出場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 ・作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着した
-------------	--

- 環境に対する注意事項:
 除去方法:
- ・ 粉じん、ガスを吸入しないようにする。
 - ・ 本品や廃液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 - ・ 火気、高温体の接近及び過熱、衝撃、摩擦を避ける。
 - ・ 真空で吸い取る等、粉じんが飛散しない方法で取り除き、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | | |
|-----|-----------|--|
| 取扱い | 技術的対策: | <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の良い場所で取り扱う。 ・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。 ・ 火気、高温体の接近及び過熱、衝撃、摩擦を避ける。 ・ 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を行なう。 ・ 金属用具は使用せず、冷暗所から取り出した後、直射光(日光、蛍光灯)を避けて速やかに使用する。 ・ 取扱後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。 ・ 使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。 ・ その他、該当法規に従うこと。 |
| | 注意事項: | <ul style="list-style-type: none"> ・ みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。 ・ 開封後は密閉し、速やかに使用すること。 |
| | 安全取扱注意事項: | <ul style="list-style-type: none"> ・ アルカリ性物質、強酸化剤との接触を避ける。 |
| 保管 | 適切な保管条件: | <ul style="list-style-type: none"> ・ 火気、熱源より遠ざける。 ・ 容器を密封し、直射日光、多段積みを避けて遮光し、低湿度冷暗所に保管する。 ・ その他、該当法規に従うこと。 |

8. ばく露防止及び保護措置

- | | |
|------|---|
| 設備対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ設備を密閉化し、局所排気装置の設置又は全体換気を適切に行うこと。 ・ 取り扱い場所の近くに緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 |
| 管理濃度 | 設定されていない。 |
| 許容濃度 | 日本産業衛生学会: 設定されていない。
ACGIH: 設定されていない。 |
| 保護具 | 呼吸器の保護具: 防塵マスク
手の保護具: 保護手袋(不浸透性、帯電防止) |

目の保護具： 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具： 保護服、保護長靴、保護前掛け(帯電防止)

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

形状：	粉末	
色：	黄色～黄橙色	
臭い：	特になし	
pH：	データなし	
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲		
沸点：	データなし	
融点：	データなし	
分解温度：	143℃	
引火点：	データなし	
発火点：	データなし	
爆発特性	爆発限界：	データなし
蒸気圧：	データなし	
密度：	データなし	
溶媒に対する溶解性	水：	可溶
	その他：	データなし
オクタノール/水分配係数：	データなし	

10. 安定性及び反応性

安定性：	光、熱に対して不安定で分解し、品質劣化を起こす。
反応性：	加熱すると 110 から 120℃付近で急激な体積膨張があり、爆発する恐れがある。 アルカリ性物質と接触すると変化する。
危険有害な分解生成物：	燃焼すると一酸化炭素、窒素酸化物等のガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性：	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：	刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	データなし
吸引性呼吸器有害性：	データなし

12. 環境影響情報

生体毒性:	データなし
残留性・分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・内容を明確にしたうえで産業廃棄物処理業者に委託する。
- ・水酸化ナトリウム水溶液でジアゾを分解後、可燃性溶媒に溶解又は混合し、再燃焼装置、スクラバーの付いた焼却炉で燃焼させる。

※該当法規もしくは都道府県及び市町村の条例による廃棄の規制がある場合は、それに従った廃棄処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制:	IMDG-CODE Class 4.1
国連分類:	クラス 4.1 (可燃性固体)
国連番号:	3226 (自己反応性物質 D (固体)) (濃度が 100 質量%のもの)

- 注意事項
- ・該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
 - ・輸送前に、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。
 - ・特に高温多湿または直射日光に曝される場所に長時間放置しないこと。
-

15. 適用法令

船舶安全法 危規則第 2、3 条危険物告示別表第 6 可燃性物質類 可燃性物質

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 4 可燃性固体

港則法 施行規則第 12 条危険物告示可燃性物質類 可燃性物質

16. その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

引用文献

14504 の化学商品 (化学工業日報社)

化審法化学物質 改訂第 2 版 構造別分類番号 CAS 番号付与 (化学工業日報社)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム (CHRIP)

THE SIGMA-ALDRICH LIBRARY OF CHEMICAL SAFETY DATA EDITION (SIGMA-ALDRICH CORPORATION)

社内資料

注意事項

- ・現時点で入手できた情報に基づき作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意ください。
- ・記載内容は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- ・注意事項等は通常の実施を前提としており、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・新しい知見により、本データシートは改訂されることがあります。